

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立神応保育園						
指定管理者	株式会社アソシエ・インターナショナル						
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 15 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	高輪地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	34	34	0	3	0	3	2	39
	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数	5							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
定員（人）	114	114				
一時保育（人）	765	928				緊急一時を含む。
休日保育（人）	74	151				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	234,251,846	261,041,701	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	234,251,846	261,041,701				
	利用料金収入						
	その他収入						
	支出	220,618,446	255,037,071	0	0	0	
	職員人件費	164,611,327	193,416,085				
	光熱水費	3,973,239	5,601,636				
	修繕費	1,493,360	29,700				
	事業運営費	14,759,650	20,343,086				
	施設管理経費	8,328,870	8,662,564				
	その他経費	27,452,000	26,984,000				
差引収支額		13,633,400	6,004,630	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		284,994,528	286,316,740				

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点					90 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和6年度は『子どもまんなか』を保育目標とし保育を展開してきました。園内研修や管理職会議内での活動報告の際は、子どもを真中に保育が行われているか、また、実際の保育現場では副主任がクラスに入ること、子ども主体の保育が行われているかの確認をしました。結果、子どもが真中にいるかを、職員一人ひとりが意識するようになったと思います。今後の課題としてはまだまだ、大人の都合での保育もあるため、「できない。」のではなく、「どうしたらできるのか？」で考えていく事が必要。合わせて、『子どもまんなか』は1年で完結するものではなく、引き続き保育活動においては意識していかなければいけないと考えます。 運営管理においては、地域との連携、地域にも開かれた保育園運営が行えるように取り組みました。複合施設であることから、3階の神応学童保育クラブとは、保育園の行事参加や学童のハンドベル活動の披露、就学前の5歳児は学童保育体験で交流。4階の神応いきいきプラザとは、作品展に園児の作品を出展したり、参加可能な行事に呼んで戴いたり、交流をしました。 地域子育て家庭には、夏まつり・運動会・作品展は地域の方も参加できるよう案内。また「保育園であそぼう」は年間を通して9回開催。園庭開放も、火曜日、木曜日、週2回いずれも港区のホームページで開催は公開していますが、参加者数は少ないため、どうすべきか今後の課題です。園児学は見学者希望者の可能日程で対応するようにしています。今後の課題は地域の子育て世代が求めていることを把握し活動できたらと思います。
区（施設所管課）による評価	令和6年度は開設2年目となり、『子どもまんなか』の保育目標のもと、子ども一人ひとりの状況や気持ちに合った、丁寧な保育が日頃から行われています。複合施設であることを生かし、神応学童クラブ・神応いきいきプラザとの交流を行い、地域に根差した保育運営に尽力しています。前年度と比較し、保護者希望の園児学や農園体験など、利用者ニーズに沿った活動を積極的に実施しました。 一方で、公募時の提案事業の実施や積極的なサービス改善・向上に対する提案には至りませんでした。今後も保護者の方々や地域のみなさまとより良い関係を構築しながら、より質の高い保育を提供するとともに、さらなるサービス向上につながる積極的な提案を期待します。 引き続き、保護者や園児が安心して保育園生活を送ることができるよう、安全対策を徹底して施設運営に取り組めるよう、区として支援・指導してまいります。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価	S
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）